

### 3 農業共済への加入

#### (1) 雪害に備えた「園芸施設共済」への加入

補強や補修等の事前対策とともに、万一被災した場合の備えとして、「園芸施設共済」への加入も有効です。この活用で、ハウス本体や被覆資材をはじめとした施設への被害に対し補償が受け取れ、早期の再建・営農再開が見込めます。

ぜひ最寄りの NOSAI とちぎ（栃木県農業共済組合）にお尋ねの上、加入のご検討をお願いします。NOSAI とちぎ（本所）[Tel\(028\)683-5531](tel:0286835531)

### 4 融雪準備

- (1) 暖房機の給油残量と正常作動を確認する。
- (2) 発電機を準備し、動作確認を行う。
- (3) ハウス周囲に排水路を掘るなど融雪水の排水対策を行う。

### 5 積雪防止

- (1) 谷樋（特に雨樋の落とし口部）や排水路のゴミや残雪を除去する。
- (2) 被覆材表面にある雪の滑落を妨げる突出物を除去する。
- (3) 雪の滑落を妨げるネット等はずす。
- (4) 外張りフィルムのたるみをなくし、破損箇所を修繕する。
- (5) 作物を栽培していないハウスの被覆資材を除去する。
- (6) 収穫を終了した果樹園の多目的防災網や防鳥網等は速やかに束ねる。  
収穫物がある場合は、降雪が始まったら速やかに束ねられるよう準備しておく。

## II 降雪中の対策

### 1 融雪対策

- (1) 内部被覆（内張りカーテン）を一部又は全部開放し、暖気や地熱の放射で融雪する。
- (2) サイド被覆の巻上げは、完全に下ろさずスソぎりぎりではめるなど、積雪で開けられないことが無いよう工夫する。
- (3) 暖房機のあるハウスでは、雪の降る前から通常より高めの温度設定で加温する。  
また、プロパンガス燃料等の炭酸ガス発生機があればハウス内の炭酸ガス濃度に注意しながら積極的に稼働させ保温に努める。
- (4) 連棟ハウスでは、谷部分の融雪を促すように暖房のダクトを配置する。
- (5) ウォーターカーテンのあるハウスでは、雪の降る前から水を流しハウス内保温に努め雪が積もらないようにする（雪が積もってからでは溶けにくい）。  
雪が積もらないようにする（雪が積もってからでは溶けにくい）。
- (6) 融雪を目的とした散水はしない（雪が水分を含むことで重さが増し、倒壊の危険が高くなるため）。

### 2 除雪

- (1) 積雪時には、早めに雪下ろしをする。  
複数年展帳しているPOフィルムはホコリで雪が滑りにくいので注意する。特に、積